

# 指定管理者評価票

年度	令和4年度
担当部署	福祉部 福祉課 障がい者支援係

## 1 公の施設

施設名称	瑞穂町福祉作業所「さくら」		
所在地	東京都西多摩郡瑞穂町箱根ヶ崎831番地の2		
施設概要	敷地面積1,167.15㎡、建築面積339.10㎡（木造平屋建）定員30人 作業室、事務室、休憩室、シャワー室、トイレ、更衣室、玄関、給湯室、物入、脱衣室、相談室、静養室、だれでもトイレ、ホール、倉庫、面談室		
設置年月日及び経過年数（導入時）	平成22年1月設置 平成22年4月導入	導入後	13 年経過

## 2 指定管理者及び業務内容

指定管理者	団体名	社会福祉法人あかつきココニー			
	所在地	東京都武蔵村山市伊奈平1-64-1			
指定管理期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日	選定方法	非公募	利用料金制	導入
指定管理の目的及び求める効果	長年にわたり障がい者に対し、就労支援事業を提供してきた実績と民間事業所ならではの柔軟性のあるサービスを提供することで自立支援を効率的に実施することを目的としています。				
指定管理の業務内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 就労継続支援B型事業（障害者総合支援法第5条14項に規定する就労継続支援事業）</li> <li>2 作業所の施設等の利用の許可に関すること</li> <li>3 法第28条第2項に規定する訓練等給付費、特例給付費の請求に関すること</li> <li>4 作業所の施設等の維持管理に関すること</li> <li>5 その他町長が特に必要と認めること</li> </ol>				

## 3 施設の利用状況

（単位：人、円）

利用状況（量）を示す指標名	前指定末 令和元年度	指定期間中の実績				
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
① 利用者述べ数	6,558	6,773	6,421	6,456		
② 登録者数（年度末現在）	30	30	28	29		
③ 平均工賃	17,793	16,575	16,652	17,913		

## 4 指定管理者の収支状況

会計方式

発生主義

（単位：円）

		前指定末 令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
収入	指定管理料	8,121,000	8,721,000	8,521,000	9,074,000		
	利用料金収入	52,005,543	53,412,734	52,903,690	55,536,834		
	その他	180,215	164,272	1,926,575	2,647,131		
	計	60,306,758	62,298,006	63,351,265	67,257,965		
支出	支出	56,824,961	59,283,546	62,500,471	66,135,741		
	うち修繕費	402,840	385,550	229,064	118,956		
	うち人件費	36,830,557	40,460,953	40,325,058	41,699,569		
	その他	19,591,564	18,437,043	21,946,349	24,317,216		

## 5 今年度の変更点

施設管理・改修に関する こと	令和2年度	レーザー加工機基盤交換、作業場水栓、トイレ排水修繕
	令和3年度	空調機器修理、消防設備器具電池交換・消火器交換、建具・内装工事
	令和4年度	作業場手洗い廻りのパネルの取り付け工事、車いすの保守点検及びタイヤ交換
	令和5年度	
	令和6年度	
事務改善及び効率化等に 関すること	令和2年度	特記なし
	令和3年度	特記なし
	令和4年度	法人全体で統一した支援システムの導入（日々の支援記録、個別支援計画、請求業務等が一括管理することが可能になる）
	令和5年度	
	令和6年度	
利用状況に関する こと	令和2年度	特記なし
	令和3年度	・福祉バス廃止に伴う下期（10月）からの送迎サービス開始 ・新規企業（段ボール紙の緩衝材組み立て）との取引開始
	令和4年度	全利用者を対象とした利用者工賃（給料）の評価・見直し
	令和5年度	
	令和6年度	

## 6 経費比較（前指定末と指定後）

（単位：円）

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
算定	指定後	8,826,000	8,916,945	9,446,330		
	前指定末（令和元年度）	8,226,000	8,226,000	8,226,000		
	比較	600,000	690,945	1,220,330		
実経費	指定後	8,721,000	8,521,000	9,174,000		
	前指定末（令和元年度）	8,121,000	8,121,000	8,121,000		
	比較	600,000	400,000	1,053,000		

※実経費では、「町職員人件費」及び「物品提供金額」を除外

7 個別評価

評価ランク		評価内容
良い	5	協定等を遵守し、仕様に沿った管理であった。
やや良い	4	協定等を遵守し、おおむね仕様に沿った管理であった。
普通	3	協定等をほぼ遵守し、おおむね仕様に沿った管理であった。
やや悪い	2	協定等をほぼ遵守し、おおむね仕様に沿った管理であったが、一部に課題があった。
悪い	1	協定等を遵守できず、仕様に沿った管理ができなかった。

評価項目	評価の着眼点	評価	管理者評価理由	評価	担当者評価理由		
業務評価指標	協定書・仕様書で示した事項	5	協定書・仕様書で示した事項を遵守しております。	5	協定書・仕様書で示した事項について、適切に履行されています。		
	維持管理状態	5	敷地内外の清潔維持・整理整頓を常に心がけています。火災設備・防犯設備・空調等、施設設備については保守点検を実施し、修繕が必要な部分については役場職員と協議しながら適宜対応しております。	5	設備点検や日頃の維持管理に努め、適切に修繕するなど、維持管理状態は良好です。		
インプット指標	行政資源投入量	5	令和4年度は送迎車輛の費用分が指定管理費の増額となっています。施設の老朽化に伴う修繕費用や備品の入れ替え、物価高騰による経費の増額や最低賃金の上昇における人件費の増額等については、行政のヒアリングで協議を行っております。	5	送迎の開始、施設の老朽化に伴う修繕や買い替え需要の増加、物価や人件費の上昇などにより、指定管理料に不足が生じているものについては、指定管理者からヒアリングを行い、指定管理料の増額や町予算での対応を順次行っています。		
	職員投入及び物品提供の状況	5	町職員とは密な連携が図れています。必要な物品（備品）についてはヒアリング機会を設けていただきながら運営状況を共有し、適宜協議を行っております。	5	施設職員とは日頃から密に連携しています。物品の提供の必要性についても、ヒアリングの機会を設け、指定管理者と協議を行っています。		
アウトプット指標	利用者数の状況（事業の活動量、活動実績）	5	活動実績として、年度末時点の登録者数は定員30名に対して29名となっています。また、利用者の延べ人数は6,456人で昨年度より45人の増加となりました。登録者の推移は昨年度と同等であったため、延べ利用者数の変動も小さくなっています。新規利用者の獲得においては地域の計画相談事業所と連携を図り、見学や実習希望者のニーズに沿った柔軟な対応を心掛けています。	5	利用延べ人数は増加しており、令和3年度下半期から開始した送迎の効果もあり、登録者の安定的な施設利用がなされています。新規利用者の獲得につながる施設見学や実習にも積極的に取り組んでいます。		
	施設の稼働状況（稼働日数・貸し出し日数）	5	開所予定日数243日に対し、241日の開所日数となりました。夏季休暇として3日間の閉館を設けましたが、町行事（ふれあい運動会）に参加したことで1日開所日数が増加し、標記の241日の開所となりました。開所日変更の際は役場職員に変更届を提出し、不備なく開所させていただきました。	5	就労継続支援B型事業所として、施設の目的に沿った稼働状況となっています。条例に示した開館日数を基本としつつ、利用者の利便性や町行事への参加に合わせて柔軟に開所日の変更を行っています。		
	利用料収入の状況	5	事業計画とおりのサービスが提供されているか。・事業の計画、実施、成果は計画とおりのか。・営業努力の状況は認められるか など	5	就労継続支援B型の主目的である就労支援事業において、新規受注作業の獲得や既存事業の見直しにより就労支援事業収入が約680万円と開設以降最高額となり、利用者平均工賃も17,913円と昨年度比で+1,261円と、こちらも開設以降最高額となりました。	5	新規受注作業の獲得など、就労支援事業収入や利用者工賃の向上に積極的に取り組み、成果を上げています。
業務収支	収支のバランスが適切か。・経営状況は安定しているか など	5	令和4年度決算（見込み）は約120万円の黒字と安定した経営状況となっています。経営状況は安定していますが、利用者の高齢化・重度化に対応できるような人員配置が求められていることから人件費支出が増加傾向にあります。	5	収支のバランスは適切です。経営状況は安定しています。		
アウトカム指標	利用者の利便性の改善	5	利用者の方の利便性向上のため、どのような努力をおこなっているか。・利用者の意向反映について、適切に改善策が講じられているか など	5	高齢化・重度化に伴うニーズ（希望）の変化に対応し、他事業所との併用や通所日数の調整等を行い、長期間に渡って働き続けられる環境作りを構築しています。作業面のみではなく、行政及び関係機関との連携を密に図り、生活の全体像を捉えた支援を心掛けています。また、令和5年度は第三者評価を実施予定です。	5	利用者・ご家族の障害特性やニーズを把握し、個別支援計画に反映するなど、日頃から利用者の意向を反映させた事業運営に努め、作業環境やプログラムなどの創意工夫を行っています。
	プログラム等質の改善	5	施設の活用や事業への創意工夫はどのようなことを行っているか。 など	5	作業においては写真付きの手順書を作成したり、利用者の障害特性に応じたサポートツール（治具）を事業所独自で作成し、職員の維持・拡大に努めています。また生活支援においては本人及び家族の状況も把握し、将来の生活を見据えた助言や支援も行っております。	5	利用者の高齢化・重度化に対応するべく、作業環境を工夫している他、就労支援に止まらず、利用者の日常生活や家族支援もきめ細かく行っています。
	利用者の満足度の状況	5	モニタリング（利用者の満足度）はどのようなことをおこなっているか。など	5	利用者の希望が実現できるよう個別支援計画を作成し、半期に1回モニタリングと見直しを実施しています。また、自身の頑張りや工賃（給料）に反映されるよう作業評価表を導入し、自分の得意・不得意・今後の目標・モチベーションが明確になるよう年1回の評価を実施しています。令和4年度は保護者との個別面談を実施し、事業所への希望や将来の生活について話し合いの機会を設けて希望等の聞き取りを行いました。	5	定期的なモニタリングと個別支援計画の作成・見直しにより、利用者の意向を確認しています。障がい特性や本人の目標に合ったサービスを提供することができています。
遵法検査	遵法検査の状況	5	法定検査及び必要な検査並びに東京都や町の監査は適切におこなわれているか。など	5	障害者総合支援法や東京都の指定基準に沿った事業を遵守しています。行政に必要な報告を行うとともに、変更が生じる際は町職員に相談し、常日頃から運営状況を把握してもらうよう努めております。	5	就労継続支援B型事業所として、法や都の指定基準に沿った事業を行っており、必要な報告などは適切に行われています。
総括	経費比較（前指定未と指定後における町支出の比較）	5	町職員との連携は密に図られています。また、予算時期には必ずヒアリングを実施してもらい、来年度の指定管理費について協議の機会を設けていただいております。	5	日頃から施設職員との連絡を密に行い、事業報告や予算の時期にはヒアリングを実施して、適正な経費状況となるよう予算確保に努めています。令和4年度は当初予算で送迎経費半年分の増額：指定管理料406,000円増としたほか、下記のとおり、補正予算を組んで経費増に対応しました。物価高騰による光熱費・燃料費等の増額：指定管理料147,000円増 ガソリン代助成（1/2補助）：100,000円		